



寺報法蔵
平成30年十夜号
発行 長田善生
日光市大桑町270
TEL(21)8220
浄土宗 法蔵寺
開創 630年

異常気象におもろ

〜お寺はなぜ建てられた?〜

あたりを彩る秋の季節が訪れました。境内も色鮮やかになっています。日光市の秋は短く、すぐに冬がやってきます。わずかですが楽しみな季節。しっかりと楽しみたいですね。

さて一方で、今年には自然災害が多いように思います。スーパー台風と言われる超大型台風が何度も日本を襲い、各地に傷痕を残し、震度7規模の地震が何度も起こり多数の死者を出しました。各災害で命を落とされた方々に心から哀悼の意を捧げます。また被災し、日々の生活もままならない方々の一日でも早い復興を祈ります。

いろいろな災害の報道を受け、なにかできる事はないかと、常に思います。テレビや新聞では、ボランティアの方々活動が報じられています。すぐに馳せ参じられれば良いとは思いますが、実際はなかなかできる事ではありません。

日本に寺院が建立され始めたのは飛鳥時代までさかのぼります。その建立の目的は「国家の平和と安泰」「自然災害の平癒」「作物の豊穰」「一族の繁栄」が主なものでした。お寺は本来、そんな願いを届ける場所でした。

現在、お寺というと「葬式」「法事」のイメージが強い事でしょう。実際お寺に足を運ぶ機会というと、先の法要に加え、「お盆」「お彼岸」とやはり、供養の意味合いの強いものばかりです。

しかし、繰り返しになります。がもともとお寺は「願いを届ける場所」です。

その原点を踏まえた行事が「お十夜」です。「お十夜」は、安定した収穫を願い、豊穣に感謝し、家族や一族の健康や安寧を願う行事です。まさに、お寺建立の原点と言える行事です。

お十夜期間に、ぜひお寺をお参りし、懇ろにお心内にあるさまざまな願いをご本尊様に届けて下さい。

合掌

十夜法要

十一月十一日(日)午後二時
諸願成就祈願

『百万遍大数珠』繰り

(自由参加)

◎当日参列者には念珠プレスレットを記念にお授けします。

☆お十夜説法

午後一時半〜本堂にて
副住職による法話(予定)

境内紅葉ライトアップ

境内のモミジをライトアップします。

期間：十夜期間中

日没頃〜二十時頃

※尚、雨天は中止になります。

※お越しの際は、足下が暗いのでお気を付け下さい。

【重要】

引越等住所又は連絡先が変更の際にはお寺にご連絡下さい。